。ヨシュア
１：４　（ヨシュア２１：４５）約束した事は１つもたがわず実現した

1:7 ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行なえ。これを離れて右にも左にもそれてはならない。それは、あなたが行く所ではどこででも、あなたが栄えるためである。
　　@ただ強く、雄々しくあって、＝約束実現のためにしなければならないこと。
　　@inheritance　ただで受け取るもの　　出エジプト（受動的）
　　@posession　勝ち取るもの　　カナン征服（能動的）

1:8 この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。
　　（ヤコ１：２２）みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者で
　　あってはいけません。
　　（ヤコ１：２５）完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、
　　すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。
　　こういう人は、その行ないによって祝福されます。
　　（ヘブ８：１０）わたしは、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつけ
　　る。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。
　　（詩篇１１９：４４－４８）戒めを愛する詩・
　　@「そうすれば、、《RV》全ての》する事で繁栄し、、

1:9 わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」
　　@（英）私があなたを遣わしたのだから

1:17 私たちは、モーセに聞き従ったように、あなたに聞き従います。ただ、あなたの神、主が、モーセとともにおられたように、あなたとともにおられますように。
　　@主が共にいることは成功する為に必要な最大のこと
　　@民の言葉から同じことが語られて、それが確認となった。
　　@三つの存在に語られた。
　　１）モーセが言った
　　(ア)（申命記３１：６）モーセが会衆の前で民に言った
　　(イ)（申命記３１：７）モーセが会衆の前でヨシュアに言った
　　２）神がヨシュアに語られた
　　３）民がヨシュアに言った

1:18 あなたの命令に逆らい、あなたが私たちに命じるどんなことばにも聞き従わない者があれば、その者は殺されなければなりません。ただ強く、雄々しくあってください。」
　　@（1:7）（1:9）で主が語った同じ言葉を他の人の口から聞かされた。確認となった。
　　先にモーセから聞かされていた（申命記 31:6-7）からであるが、ヨシュアは驚いたことでしょう。

２：１　「ラハブ」＝心の広いの意味
２：１　「遊女」＝（ＮＩＶ）売春婦
　　@これはただの売春婦ではなく「神殿娼婦」＝神官
2:6　　屋上に連れて行き
2:9　　与えられていること
２：９　「震えおののいている」、自分達の行いが悪いのを知っていた
２：１０「葦の海をからされた」、４０年もの間うわさが遠くまで広がっていた
２：１１「、、神であられるからです」＝信仰告白
2:14　　しゃべられなければ

3:4 あなたがたは、今までこの道を通ったことがないからだ。
　　@（イザヤ 41:3 彼は彼らを追い、まだ歩いて行ったことのない道を安全に通って行く。
　　@（イザヤ 42:16 わたしは盲人に、彼らの知らない道を歩ませ、彼らの知らない通り道を行かせる。彼らの前でやみを光に、でこぼこの地を平らにする。これらのことをわたしがして、彼らを見捨てない。

３：７　「あなたとともにいることを彼らが知るためです」、＝奇跡によって

3:15 箱を担ぐ者たちがヨルダン川まで来たとき、ヨルダン川は刈り入れの期間中で、どこの川岸にも水があふれていた。ところが、箱を担ぐ祭司たちの足が水際の水に浸ると、
　　（創世記 46:1 イスラエルは、彼に属するすべてのものといっしょに出発し、ベエル・シェバに来たとき、父イサクの神にいけにえをささげた。46:2 神は、夜の幻の中でイスラエルに、「ヤコブよ、ヤコブよ。」と言って呼ばれた。彼は答えた。「はい。ここにいます。」

3:16 川上から流れ下る水が立ち止まった。一つの堰が、はるかかなた、ツァレタンのそばにある町アダムで立ち上がり、アラバの海、すなわち塩の海へ流れ下る水は完全にせき止められて、民はエリコに面したところを渡った。
１歩踏み出した時に奇跡は起こる

3：16　完全にせき止められた
　　@（イザヤ 43:2 あなたが水の中を過ぎるときも、わたしはあなたとともにおり、川を渡るときも、あなたは押し流されない。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。

3:17　　ついに民は　　３００万人、　エリコまで８Km

4:3 彼らに命じて言え。『ヨルダン川の真中で、祭司たちの足が堅く立ったその所から十二の石を取り、それを持って来て、あなたがたが今夜泊まる宿営地にそれを据えよ。』」

４：９　「石を立てた」＝あかし

5:8 民のすべてが割礼を完了したとき、彼らは傷が直るまで、宿営の自分たちのところにとどまった。
5:9 すると、主はヨシュアに仰せられた。「きょう、わたしはエジプトのそしりを、あなたがたから取り除いた。」それで、その所の名は、ギルガルと呼ばれた。今日もそうである。
　　@「すると」、従順の結果

@「ギルガル」＝転がすの意味

5:12 彼らがその地の産物を食べた翌日から、マナの降ることはやみ、イスラエル人には、もうマナはなかった。それで、彼らはその年のうちにカナンの地で収穫した物を食べた。

5:14 すると彼は言った。「いや、わたしは主の軍の将として、今、来たのだ。」そこで、ヨシュアは顔を地につけて伏し拝み、彼に言った。「わが主は、何をそのしもべに告げられるのですか。」
5:15 すると、主の軍の将はヨシュアに言った。「あなたの足のはきものを脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」そこで、ヨシュアはそのようにした。

伏し拝み＝シャハー◂ 7812. shachah (שחה) (172 回) ▸ ひざまづく、礼拝する、礼をする
(NAS) bowed down (KJV) worship (INT)bowed (改 4)伏し拝み

@ヨシュアは礼拝の中の深い主の臨在の中で主から戦術をいただいた
@カナンの地は異教徒によって汚れていたが、主の臨在がそこを清めた

6:2 主はヨシュアに仰せられた。「見よ。わたしはエリコとその王、および勇士たちを、あなたの手に渡した。
@（１）その土地。（２）主権者 （３）もろもろの悪霊たち

6:4 七人の祭司たちが、七つの雄羊の角笛を持って、箱の前を行き、七日目には、七度町を回り、祭司たちは角笛を吹き鳴らさなければならない。
@ 奇跡の為に１３回周る必要は無かったが主はその方法を選ばれた

6:5 祭司たちが雄羊の角笛を長く吹き鳴らし、あなたがたがその角笛の音を聞いたなら、民はみな、大声でときの声をあげなければならない。町の城壁がくずれ落ちたなら、民はおのおのまっすぐ上って行かなければならない。」

雄羊の角笛＝be qeren hay yowbel ベケレン・ハヨベル＝ヨベルの角
角＝ケレン◀ 7161. (קרן) qeren ７６回▶角、力、（現へ）財団
雄羊＝ヨベル◀ 3104. (יובל) yobel 27 回▶小羊の角、（へ） ヨベル(21 回)
＝ヨベルの年 （レビ２５：１）（ルカ４：１８）（イザヤ６１：１）

長く吹き鳴らし＝ビムソク bim šōḵ ＝◀ 4900. mashak 36 回▶ Definition: to draw, drag

角笛 ＝◀ 7782. shophar 72 回▶
音 ＝◀ 6963. qol 507 回▶声、音

ときの声をあげ＝テルア◀ 8643.(תרועה) teruah 36 回▶Definition: a shout or blast of war, alarm, or joy

6:20 民はときの声をあげ、祭司たちは角笛を吹き鳴らした。角笛の音を聞いて民が大声でときの声をあげると、城壁は崩れ落ちた。そこで民はそれぞれ、まっすぐに攻め上り、その町を攻め取り、
ときの声をあげ＝◀ 7321.(רוע) rua 45 回▶＝to raise a shout, give a blast

６：２０「時の声をあげ」＝自然な行動が超自然を呼び起こした

@（2 歴代誌 13:14 ユダが向き直ると、見よ、戦いは前後から迫っていた。それで、彼らは主に叫び求め、祭司たちはラッパを吹き鳴らした。13:15 そして、ユダの人々はときの声をあげた。ユダの人々がときの声をあげたとき、神はヤロブアムと全イスラエルを、アビヤとユダの前に打ち破られた。

6:26 ヨシュアは、そのとき、誓って言った。「この町エリコの再建を企てる者は、主の前にのろわれよ。その礎を据える者は長子を失い、その門を建てる者は末の子を失う。」

@（1 列 16:34 彼の時代に、ベテル人ヒエルがエリコを再建した。彼は、その礎を据えるとき、長子アビラムを失い、門を建てるとき、末の子セグブを失った。ヌンの子ヨシュアを通して語られた主のことばのとおりであった。

７：１　「聖絶のものをとった」、主から取った

@この問題はあらかじめ警告されていた

@（申 13:16 そのすべての略奪物を広場の中央に集め、その町と略奪物のすべてを、あなたの神、主への焼き尽くすいけにえとして、火で焼かなければならない。その町は永久に廃墟となり、再建されることはない。13:17 この聖絶のものは何一つ自分のものにしてはならない。主が燃える怒りをおさめ、あなたにあわれみを施し、あなたをいつくしみ、あなたの先祖たちに誓ったとおり、あなたをふやすためである。

７：３　二，三千人くらい」＝思いあがり、自分の信仰に対する信仰

7:5 アイの人々は、彼らの中の約三十六人を打ち殺し、彼らを門の前からシェバリムまで追って、下り坂で彼らを打ったので、民の心がしなえ、水のようになった。

@主の哀れみゆえ 36 人の犠牲者ですんだ。

7:7 ヨシュアは言った。「ああ、神、主よ。あなたはどうしてこの民にヨルダン川をあくまでも渡らせて、私たちをエモリ人の手に渡して、滅ぼそうとされるのですか。私たちは心を決めてヨルダン川の向こう側に居残ればよかったのです。

@神は悪意を持っているという発言。ヨシュアですらこのような言葉を吐いてしまった。

７：９　「何をなさろうとするのですか」、神を説得しようとしている＝あなた評判を落しますよ

主は自分の評判に対して目をくれていない

7:11 イスラエルは罪を犯した。現に、彼らは、わたしが彼らに命じたわたしの契約を破り、聖絶のものの中から取り、盗み、偽って、それを自分たちのものの中に入れさえした。

@自分たちのものの中に入れさえした。＝神から盗んだ。

@（6:19）6:19 ただし、銀、金、および青銅の器、鉄の器はすべて、主のために聖別されたものだから、主の宝物倉に持ち込まなければならない。」

ヨシ 7:19 ヨシュアはアカンに言った。「わが子よ。イスラエルの神、【主】に栄光を帰し、主に告白しなさい。おまえが何をしたのか、私に告げなさい。私に隠してはいけない。」

告白しなさい＝トダ(名詞)◀ 8426. todah (תודה) 32 回 ▶　意味は「感謝」(32 回中「告白」は 2 回だけ(新改訳))

新改訳で告白と訳されているのは、エズラ 10:11 とヨシュア 7:19(アカンの罪)
このトダは名詞なので、どうして「する、あたる、置く」を意味する◀ 5414. nathan 2100 回▶と組み合わせて「告白する」という動詞にしている。

(KJV): and make confession unto him; and tell
(NAS): and give praise to Him;

7:21 私は、分捕り物の中に、シヌアルの美しい外套一枚と、銀二百シェケルと、目方五十シェケルの金の延べ棒一本があるのを見て、欲しくなり、それらを取りました。それらは今、私の天幕の中の地に隠してあり、銀はその下にあります。」

@「シヌアルの美しい外套」シヌアル＝バビロン　バビロンの衣
@２種類の外套がある　　１、神の（エリアの外套２列２：９）
２、この世の外套
@追いかけるのもが与えられる
（２列５：２０）ゲハジはナアマンを追いかけたのでライ病が与えられた
@見て、欲しくなり、、取りました、、隠してあり」
罪の段階　１、見て　２、欲しい　３、取って　４、隠す
１，２，３、の段階では取り返しがつかないわけではない。最大の罪は隠すこと
「隠す」←→「告白する」

それゆえ告白することは重要である。
@全ての罪の始まりは心の中での思い。
（イザ１４：１３）あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。

@エリコにあるものは全て滅ぼされる。それゆえそれを取ったアカンも滅ぼされた
この世のものはすべて聖絶される運命にある、クリスチャン以外は全て滅ぼされる
それゆえそれを愛するものも、滅んでしまう
（１テモ６：７－９）
１テモテ 6:7 私たちは、何もこの世に持って来なかったし、また、何かを持って出ることもできません。
6:8 衣食があれば、それで満足すべきです。
6:9 金持ちになりたがる人たちは、誘惑と罠と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。
6:10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。
ロトの妻の滅び
（２２：１８）死んだ者は彼（アカン）一人でない」神から盗んだ者はより罪が重い

８：１　アイ

ヨシ 8:33 全イスラエル、その長老たち、つかさたち、さばき人たちは、寄留者もこの地で生まれた者も同様に、【主】

の契約の箱を担ぐレビ人の祭司たちの前で、箱のこちら側と向こう側とに分かれ、半分はゲリジム山の前に、もう半分はエバル山の前に立った。それは【主】のしもべモーセが以前命じたように、イスラエルの民を祝福するためであった。
祝福する＝バラク◂ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▸ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

９：１　ギブオン

9:7 ヨシ 9:7 イスラエルの子らはそのヒビ人たちに言った。「おそらく、あなたがたは、私たちのただ中に住んでいるのだろう。どうして私たちがあなたがたと盟約を結べるだろうか。」

このギブオンの住民はヒビ人でもあった。

ヨシ 11:19 ギブオンの住民であるヒビ人以外に、イスラエルの子らと和を講じた町は一つもなかった。イスラエルの子らは戦って、すべてを奪い取った。

この人たちは割礼を受けていたものの子孫

創世記
34:2 すると、その土地の族長であるヒビ人ハモルの子シェケムが彼女を見て、これを捕らえ、これと寝て辱めた。

34:15 ただし、次の条件でなら同意しましょう。もし、あなたがたの男たちがみな、割礼を受けて、私たちと同じようになるなら、34:16 私たちの娘たちをあなたがたに嫁がせ、あなたがたの娘たちを妻に迎えましょう。そうして私たちはともに住み、一つの民となりましょう。

ただし、他にも（敵対する）ヒビ人はいた。

ヨシュア
11:3 すなわち、東西のカナン人、アモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、山地のエブス人、ヘルモンのふもと、ミツパの地のヒビ人に人を遣わした。11:4 彼らはその全陣営とともに出て来た。海辺の砂のように大勢の兵で、馬や戦車も非常に多かった。11:5 これらの王たちはみな集まり、進んで行き、イスラエルと戦うためにメロムの水のほとりでともに陣を敷いた。

９：９－１０　彼らのへりくだりにだまされた

9:14 そこで人々は、彼らの食料のいくらかを取ったが、主の指示を仰がなかった。
@「主の指示をあおがなかった」
@自分の考えに従う時に間違いを犯す。
（２サム２：１）上って行くべきでしょうか」ダビデが主に尋ねた

９：１９私達は彼らに触れる事はできない」
御心に反していたが、契約のゆえに触れれない

（１０：１２）「主はギブオンを守られた」
（２サム１２：１）「ギブオン人を殺したゆえにわざわい」

9:23 今、あなたがたはのろわれ、あなたがたはいつまでも奴隷となり、私の神の家のために、たきぎを割る者、水を汲む者となる。」

エズラ 2:20 ギバル族、九十五名。◀ 1402. Gibbar(גִּבָּר) 1 回▶
ネヘミヤ 7:25 ギブオン族、九十五名。◀ 1391. Gibon (גִּבְעוֹן) 37 回▶

かつてはヨシュアをだまし、お情けで生存していたギブオンの住民が、神の家のための薪を割る仕事をしているうちに神の幕屋に仕える者となった。

10:4 「私のところに上って来て、私を助けてください。ギブオンを討ちましょう。ギブオンがヨシュア、およびイスラエルの子らと和を講じたからです。」

10:6 ギブオンの人々は、ギルガルの陣営のヨシュアのところに使いをやって言った。「あなたのしもべどもからあなたの手を引かないで、早く、私たちのところに上って来て私たちを救い、助けてください。山地に住むエモリ人の王たちがみな集まって、私たちに向かっているからです。」

10:13、ヤシャルの書

10:14 主が人の声を聞き入れたこのような日は、先にもあとにもなかった。主がイスラエルのために戦ったからである。

10:19 しかしあなたがたはそこにとどまってはならない。敵のあとを追い、彼らのしんがりを攻撃しなさい。彼らの町にはいらせてはならない。あなたがたの神、主が彼らをあなたがたの手に渡されたからだ。」

１０：２４彼らは近より、その王達の首に足をかけた」
ヨシュア（キリスト）でなく我々が敵の王をも足の下に置く
（エペソ１：２２）いっさいの者をキリストの足の下に」
（ローマ１６：２０）平和の神はすみやかに、、」

11:20 彼らの心をかたくなにし、イスラエルを迎えて戦わせたのは、主から出たことであり、それは主が彼らを容赦なく聖絶するためであった。まさに、主がモーセに命じたとおりに彼らを一掃するためであった。

@箴言 16:4 主はすべてのものを、ご自分の目的のために造り、悪者さえもわざわいの日のために造られた。
@（士３：２）これはただイスラエルの次の世代の者、これまで戦いを知らない
者たちに、戦いを教え、知らせるためである。
@（申命記 2:30 しかし、ヘシュボンの王シホンは、私たちをどうしても通らせようとはしなかった。それは今日見るとおり、彼をあなたの手に渡すために、あなたの神、主が、彼を強気にし、その心をかたくなにされたからである。

１１：２３その地をことごとく取った」

土地の相続（所有でない）：約束の地の全ての主権者に対する勝利

13:1 ヨシュアは年を重ねて老人になった。主は彼に仰せられた。「あなたは年を重ね、老人になったが、まだ占領すべき地がたくさん残っている。

@「ヨシュアは老人になった」９０歳

@まだ占領（所有）すべき地がたくさん残っている」

（ヨシュア 18:3 そこで、ヨシュアはイスラエル人に言った。「あなたがたの父祖の神、主が、あなたがたに与えられた地を占領しに行くのを、あなたがたはいつまで延ばしているのか。

１４：４　ヨセフの子孫が、マナセとエフライムの二部族になっていた

１４：１１－１２（カレブ)、、、、与えられた土地の全てを所有した唯一の人

14:13 ヨシュアはエフンネの子カレブを祝福し、彼にヘブロンを相続地として与えた。
祝福する＝バラク◂ 1288. (ךרב)barak 330 回▸ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

１５：１８　オテニエル＝「主の力」の意味

彼は妻（アクサ）をそそのかして相続を求めた。

我々も祈りにおいて、キリストを動かし、父の所有物を受け取る

１７：３－４

17:14 ヨセフ族はヨシュアに告げて言った。「主が今まで私を祝福されたので、私は数の多い民になりました。あなたはなぜ、私にただ一つのくじによる相続地、ただ一つの割り当て地しか分けてくださらなかったのですか。」
17:15 ヨシュアは彼らに言った。「もしもあなたが数の多い民であるなら、ペリジ人やレファイム人の地の森に上って行って、そこを自分で切り開くがよい。エフライムの山地は、あなたには狭すぎるのだから。」

@あなた方の数が多いんだったら（強いのだったら）自分で土地を取ってきなさい。

祝福する＝バラク◂ 1288. (ךרב)barak 330 回▸ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

18:3 そこで、ヨシュアはイスラエル人に言った。「あなたがたの父祖の神、主が、あなたがたに与えられた地を占領しに行くのを、あなたがたはいつまで延ばしているのか。

@（英）主がすでに与えた土地をとりに行くだけなのだ。

19:11 その境界線は、西のほう、マルアラに上り、ダベシェテに達し、ヨクネアムの東にある川に達した。
達する＝◀ 6293.(עגפ) paga 46 回▶to meet, encounter, reach (現)ヒット

21:44 主は、彼らの先祖たちに誓ったように、周囲の者から守って、彼らに安住を許された。すべての敵の中で、ひとりも彼らの前に立ちはだかる者はいなかった。主はすべての敵を彼らの手に渡された。

@逆のパターン

（否定的に）私はそのようにしよう。

（民 14:28 あなたは彼らに言え。これは主の御告げである。わたしは生きている。わたしは必ずあなたがたに、わたしの耳に告げたそのとおりをしよう。

22:6 ヨシュアが彼らを祝福し、送り出したので、彼らは自分たちの天幕に行った。
祝福する＝バラク◂ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▸ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

２２：２０　　死んだ者は彼（アカン）一人ではない」
@神から盗んだ者はより罪が重い

22:33 イスラエルの子らはこれに満足した。彼らは神をほめたたえた。そしてもはや、ルベン族とガド族が住んでいる地を滅ぼすために戦をしよう、とは言わなかった。
ほめたたえた＝バラク◂ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▸ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。
(NAS)(KJV)(INT)blessed (改 4) ほめたたえた

２３：１０　　一人で千人を追う事ができる

23:7 これらの国々、あなたがたの中に残っている、これらの異邦の民と交わらないようにするためである。彼らの神々の名を口にしてはならない。それらによって誓ってはならない。それらに仕えてはならない。それらを拝んではならない。
拝んで＝シャハー◂ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▸ ひざまづく、礼拝する、礼をする
(NAS)(KJV)(INT) *bow (改 4)拝んで

23:16 主があなたがたに命じられた、あなたがたの神、【主】の契約を破り、行ってほかの神々に仕え、それらを拝むなら、【主】の怒りはあなたがたに対して燃え上がり、あなたがたは、主がお与えになったこの良い地から速やかに滅び失せる。」
拝む＝シャハー◂ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▸ ひざまづく、礼拝する、礼をする
(NAS)(KJV)(INT) *bow (改 4)拝む

24:10 しかし、わたしはバラムに耳を傾けようとしなかった。彼はかえって、あなたがたを祝福し、こうして、わたしはあなたがたをバラクの手から救い出した。
祝福する＝バラク◂ 1288. (בָּרַךְ)barak 330 回▸ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

２４：１５　　私と私の家は主に仕える

24:31 イスラエルは、ヨシュアの生きている間、また、ヨシュアのあとまで生き残って、主がイスラエルに行なわれたすべてのわざを知っていた長老たちの生きている間、主に仕えていた。